



Ishigaki City Childrens Tourism Ambassador

# NOTE BOOK

石垣島の観光を学習コンテンツに  
問題解決手法を学ぶ2日間

## 子ども観光学講座 in 石垣島 2025



～「石垣市子ども観光大使」認定～

石垣島の観光を  
知ることで  
考える力を育てる!!



年 名前

開催日：2025年2月22日・23日、会場：石垣港離島ターミナル会議室  
講師：寺本 潔、サポート：半嶺 安孝・玉城 頼恵・馬渡 彩、主催：沖縄県石垣市  
共催：石垣市教育委員会・石垣市観光交流協会、後援：(公社)日本観光振興協会・国土地理院沖縄支所





## はじめに（保護者の方へ）

旅行は楽しい経験です。同時に自分の住む街に来た観光客が、楽しそうに過ごしている光景を垣間見るのも幸せな気分になります。観光は行う側だけでなく受け入れる側にとっても「感幸」となる営みなのです。これから日本が欧米諸国と並び、観光先進国に成長するためには、さまざまな産業にいわばビタミンのような働きで元気を届ける観光事象を肯定的にとらえ、地域振興を牽引する人を育てることが急務です。「人を育てる」ことが役割の学校でも観光振興による地域の活性化や観光内容を探究することは、一層重視されるでしょう。とりわけ、若年層の都市部への流出と超高齢化が進む地域においては**地域の魅力を価値に換える発想**は大切で、子ども時代から周囲の大人たちと協働して地域磨きに貢献できる人材の輩出が期待されています。今回、石垣市で開催される「子ども観光学講座」は、単に石垣島という観光地について学ぶだけでなく、**地域を元気にするために自分は何ができるのかを考える市民的資質を育成**し、観光業への興味・関心を引き出す講座として企画されました。こうした2日間にわたる子ども向け講座は、日本初の試みです。

生まれ故郷でなくてもシビックプライドという「地域への誇り」の醸成が期待されています。教育関係者だけでなく旅館や土産物店、交通系等の観光業に従事する方や観光行政（観光協会、DMO）に携わる方、地域振興に関与するNPOの方々、報道や出版社、アグリツーリズムやエコツーリズム、マリンレジャーに関わる方に特に意識して頂きたい用語です。本講座は、

**未来の観光者としての成長を期待するため、  
島外と島内から参加した子どもたちが協力しながら学び合い、  
観光のお仕事見学を通して観光業や地域振興に寄与するための  
多角的な思考力と企画力（観光マネジメント力）を身に付けること**

をねらいとしています。

子どもたちの学ぶ姿を周囲の大人たちが知ることで「みんなで観光振興する」といううねりを起こしていけたらと願っています。本講座が、そのささやかなきっかけとなれば幸いです。末尾になりましたが、石垣市観光文化課をはじめ、協力して下さるホテル、離島ターミナル、石垣市教育委員会ほか関係諸団体の皆様に深く感謝致します。

令和7年2月吉日

玉川大学名誉教授・名桜大学特任教授 寺本

## もくじ

はじめに（保護者の方へ）	02
講座日程	04
講座1 「観光の花びら」で自分の都道府県を紹介しよう	06
講座2 架空のバード島の地図で観光開発について考えてみよう	08
体験① 観光ホテルのお仕事を見学してみよう	10
講座3 『オーリとーリ よこそ石垣島へ』を深読みする	12
講座4 観光客の属性に応じた <b>ポジショニング・マップ</b>	14
講座5 <b>YOUは何を目的に日本へ?!</b> 英語で会話してみよう	15
体験② 離島ターミナル待合室で旅行者にインタビューしてみよう!	16
講座6 国土地理院発行2万5千分の1縮尺 <b>地形図「川平」</b> を使って、アドベンチャー・ツーリズムの企画を考えよう	18
講座7 <b>ダイヤモンドランキング</b> で地域の観光の改善したい点に優先順位をつけよう	20
講座8 <b>顔ハメボード</b> を使って石垣島の観光を紹介しよう	21
おわりに（参加児童の皆さんへ）	23

## もくじ

石垣島の観光を学習コンテンツに問題解決手法を学ぶ2日間

# 子ども観光学講座 in 石垣島 2025

～「石垣市子ども観光大使」認定～

日 程 変更になる場合がございます。

時間 1 日目 (2月22日)

12:30 受付開始

12:50 挨拶 講師スタッフ紹介 趣旨説明 参加者同士4～5人で1テーブルを囲み、内1人は島内からの参加児童とする。

13:10 参加児童の住む県もしくは区市の観光魅力についてテキスト p4 にあるシートに事前に記入してきた「観光の花びら」を使い自己紹介。1人2分程度で紹介する。

講座 1

13:30 八重山観光のプロモーション動画(数分間)視聴後、島の開発と観光保全を考えるバード島のワークシートの読解と記入。

講座 2

14:00 会場近くのホテルのご協力で二班に分かれ、観光ホテルのお仕事(ベル・ドアスタッフとコンシェルジュ)見学

体験 1

14:50 観光パンフレット『おーりとおーり石垣島』を活用して石垣島観光のニーズ・ウォンツに応じた観光客のデマンド(需要)を予想し発表する。  
\*ここでは石垣島をよく知る島在住の児童がコーディネーター。

講座 3

15:40 休憩(時間調整)

16:00 観光客の属性に応じたポジショニング・マップのワークと紹介  
\*専門家からのコメント

講座 4

17:30 2日目の連絡後、解散



時間 2 日目 (2月23日)

08:40 受付開始

09:00 YOUは何を目的に石垣へ?日本観光振興協会作成『観光でまちを元気に!日本・ふるさと再発見!-(改訂版)』p.12の英語で観光ガイドに挑戦! ツーリストとガイド役に分かれ英語フレーズ入り案内カードで観光ガイド模擬

講座 5

10:00 待合室に出て班ごとに旅行客3組程度にインタビュー調査。来訪目的を尋ねる花びら型シートにシール貼り方式でアンケート調査⇒桟橋にて出航する船に手を振る⇒会場に戻り花びら型シートを黒板に貼り出し振り返り(適宜、10分程度休憩)

体験 2

11:00 アドベンチャー・ツーリズムの特色について学び、配布された国土地理院発行2万5千分の1地形図「川平」の読みとりと石垣島北部でのアドベンチャー・ツーリズムの企画立案。

講座 6

12:00 昼食(会場で弁当・飲み物配布)

13:00 ワークシート(ダイヤモンドランキング)を使って地域振興の改善したい点(9つ)に優先順位をつけよう。

講座 7

13:30 八重山の観光要素が描かれた6種類の「顔ハメボード」(緋の織物・川平湾のサンゴ・石垣牛・リゾートホテル・マングローブ林・宮良殿内)から班で紹介したいボードを1つ選び、会場にあるパンフレット類やスマホで検索しながら観光PR文(180文字程度)を「はじめ・なか・おわり」で立案する。⇒各班でボードを使いPR文を紹介。

講座 8

14:20 講座終了・閉校式⇒主催者挨拶・保護者の方からの感想⇒修了証授与

14:45 記念写真撮影、講座アンケート

15:00 解散



## 本講座で得られること

### 【参加児童にとってのメリット】

・島外(沖縄本島や他県からの参加児童):石垣島をはじめ八重山の観光資源に対する知識を増やし、これから大事となる持続可能な観光のあり方を考えることができます。さらに、島内の参加児童との会話や協力して課題に取り組む学びを通していろいろな角度からの見方や考え方を学び取り、関心を持っている観光の仕事への興味を深めることができます。

・島内(石垣市内に住む児童):八重山(石垣島)の観光資源に対する見方を磨き、観光地の市民として、持続可能な島の発展に役立ちたいと願う気持ちをはぐむことができます。さらに、島外から参加した児童との会話や協力して課題に取り組む学びを通していろいろな角度からの見方や考え方を学び取り、身近にある観光の仕事への興味・関心を高めることができます。

### 【保護者にとってのメリット】

・観光を題材に島内外の児童との協働的なグループワークによる探究的な学びを通して、我が子に八重山(石垣島)の環境文化や観光の仕事の面白さに関する気づきを深め、多角的な見方・考え方を「学力」として捉え直すことができます。加えて、SDGsな視点とキャリア教育に関連づけることができます。

# 講座 1 「観光の花びら」で 自分の都道府県を紹介しよう



## やってみよう

花びら型のワークシート（右ページ）を使い、自分の住む区市もしくは都道府県の魅力について紹介をします。例えば、東京都に住んでいたら真ん中の円に「東京都」と記入し、建物や施設、祭り・イベント、歴史、生活文化、食べもの、自然の6つの花びらに思いつく観光資源や観光スポットを記入します。花びらごとに、順に東京スカイツリー・東京ドーム、東京マラソン・神田祭、江戸城のお濠・赤レンガの東京駅、高層マンションの暮らし・下町ことば、そばや世界中のエスニックな食べ物、高尾山・伊豆大島というように記入します。**都道府県でなく、もっと狭い区市という範囲に絞って考えてもOKです。**

## ハテナ？を深めよう

例えば「生活文化」の花びらとして、東京らしいものって何だろう？と？を深めてみるのもいいね。**方言も生活文化**だから、東京の方言ってどんなことばなのだろうか？とか、満員の通勤電車を利用することも生活文化なのかもしれないね。「食べもの」の花びらも、東京らしい料理（郷土料理）ってあるのかなあ？って、？を持って調べてみるのも面白いよ。「自然」の花びらは23区内でも見つかるかもしれませんね。多摩川や荒川、明治神宮の森にも自然は見つかります。都会にすみつく野生動物も自然です。すぐに思いつかない場合は、県や市のHP（ホームページ）で「観光」を開いてみるといいよ。

## へえー?! と興味を高めてみよう

会場には全国各地から石垣市に集まった小学4～6年生が来てくれています。早口になりますが1人90秒の時間枠で自分が記入してきた「観光の花びら」の図を同じテーブルを囲んだメンバーに見せて説明します。いろんな小学生の説明を聞いて、「へえー?!」と興味や関心をその都道府県に向けてみると旅してみたくなるものです。印象に残った県の花びらがあれば、「それってどんな場所なの？」と昼休みに聞いてみましょう。聞かれた方も自分の住む県に興味を持ってくれることは嬉しいものです。



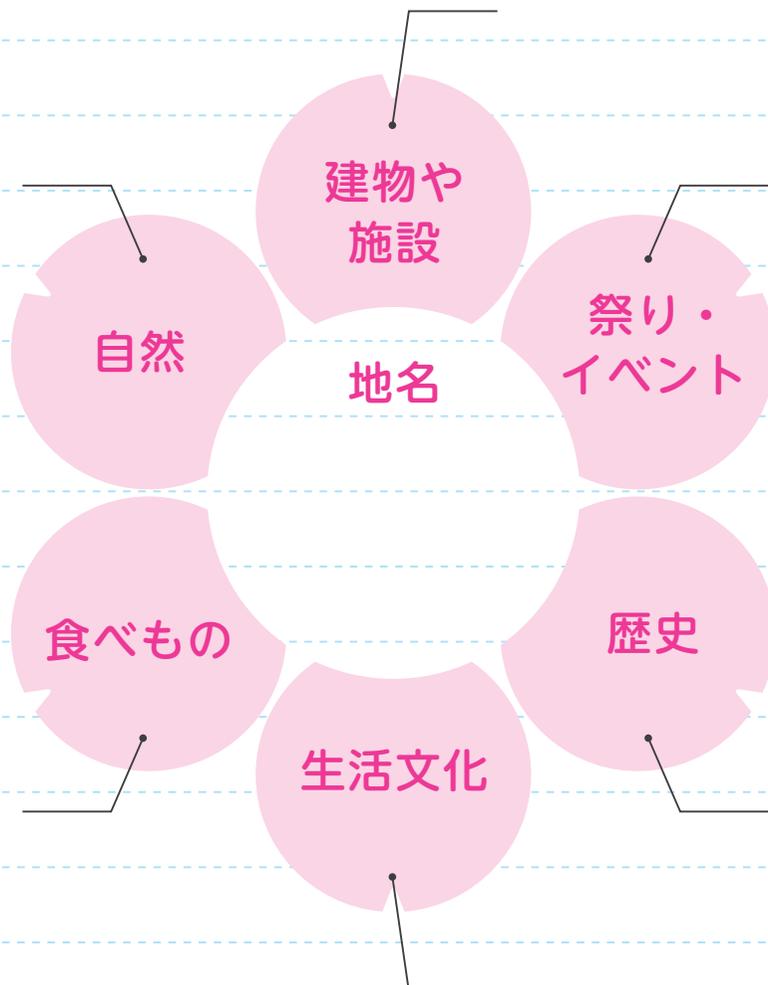
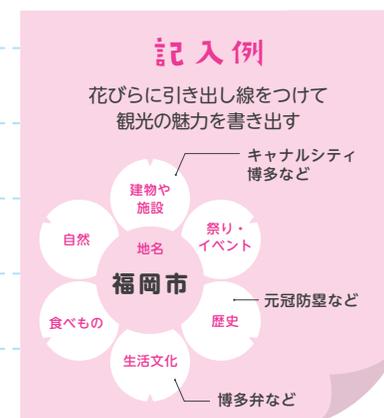
## 寺本教授コメント

各花びらに複数記入できる県（や区市町村）は、それだけ観光の魅力が多いといっていでしょう。まだ、あまり有名ではないものや場所もこれから観光資源の候補になるかもしれません。ブランディングとって目立たないものや場所を地域で磨いていくことも大切です。観光の魅力とは、もともと昔から有名なものや場所だけでなく、見出していくものも含まれています。

## 観光の花びらワークシート

このシートを班に1枚配布して話し合い活動を誘ったり、図解の略図を板書して意見を集約したりしてもよい。中央の円内には市町村名や都道府県名、観光地名を記入する。  
※印刷し、点線を目安に裁断の上、児童生徒に配布してください。

**課題** あなたの地域の6つの観光の花びらを話し合い、下に複数記入してみよう。



## 講座 2 架空のバード島の地図で 観光開発について考えてみよう

### やってみよう

鳥の形をした架空の島（バード島）の地図を作ってみました。「あなたがホテルのオーナー（所有者）だったとしたら、この島のどこにリゾートホテルを建設したいですか？」が課題です。一番、よいと思った場所にホテルの建物を記入してみましょう。

### ？を深めよう

バード島には港や学校、美しいサンゴ礁やビーチ、湖や小島、ヤシ林、田芋畑などもあります。風景がイメージできますか？ホテルを記入できた人から、その場所に建てた「考えられるメリット」と「環境面で注意すべき点」の欄に考えを書き込みます。「**どうしてその場所を建設場所を選んだのか**」理由を述べ合ってください。そうすれば、島で楽しめる観光の魅力や、島の環境と観光開発のよりよい関係について考えを深めるきっかけとなります。

### ホテルの規模や種類についても考えてみよう

「プールやチャペル（教会）も備えたホテルを建設したいな」「温泉施設もほしい」、「でも美しいサンゴ礁の小さな島に大きなホテルって似合わないかな？」「建設で林が切られたり、土砂で湖や海岸が汚れたりしないかな？」「住んでいる島の人の生活には迷惑はかからないかな？」などと角度を変えて開発で生じるいろいろな問題について想像することはとても大事です。



### 寺本教授コメント

環境アセスメントという用語を知っていますか？新たな開発事業には事前の診断（しんだん）が必要になっています。できる限り島の動物や植物を守れないかな、建設後に訪れる観光客がどのくらい島の環境に影響を与えそうかな、失われる自然を回復させる手立てはないかな、についてあらかじめ調べる作業です。時には、立派なリゾートホテルでなく小規模なコテージタイプやグランピングという形の宿泊施設の建設も想定できます。

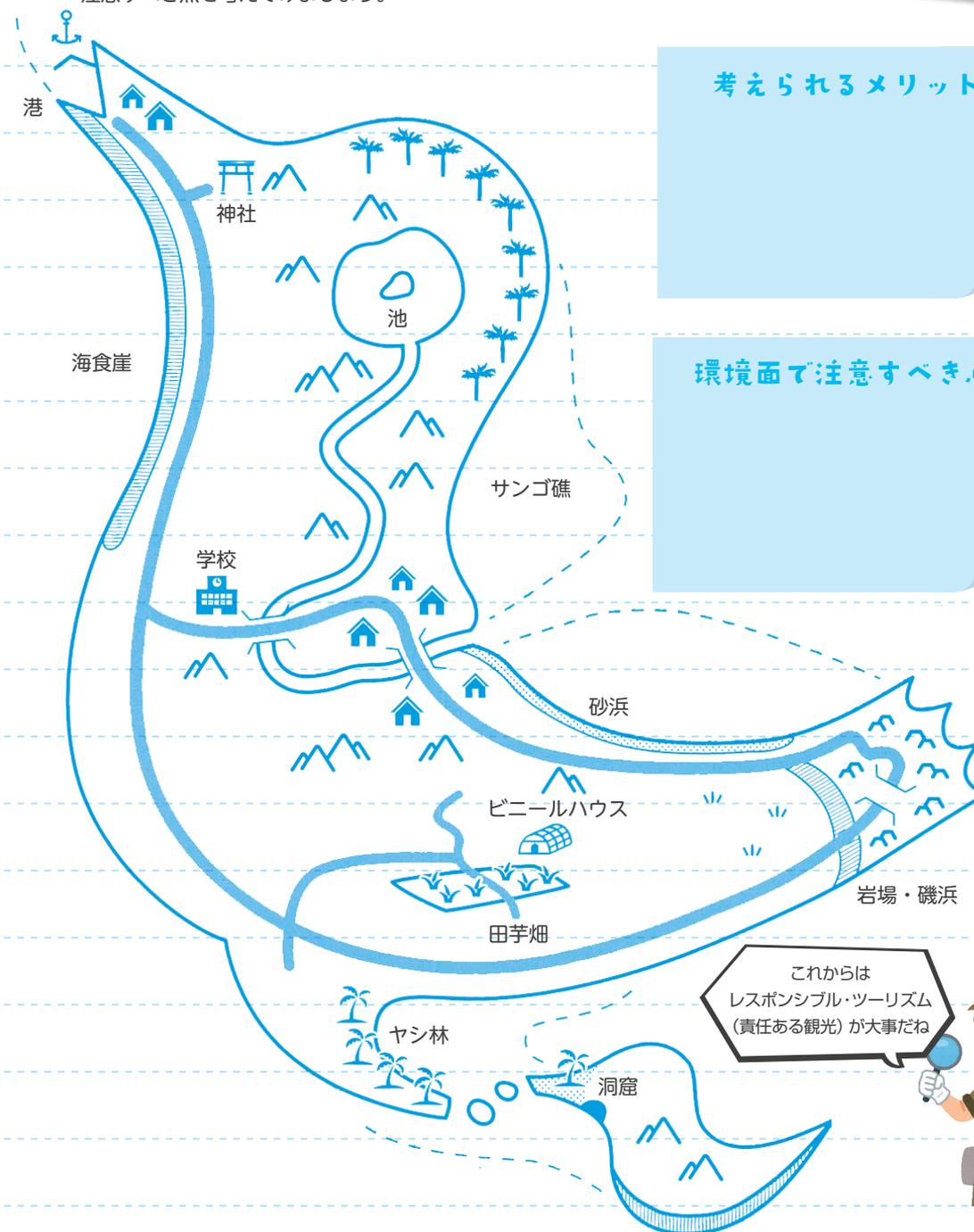
## バード島（架空）にリゾートホテルを 建設するとしたら

あなたがホテルのオーナーだったら、この島のどこに建設したいですか？建設にあたり、考えられるメリットと環境面で注意すべき点を考えてみましょう。



### 考えられるメリット

### 環境面で注意すべき点



これからは  
レスポンスブル・ツーリズム  
（責任ある観光）が大事だね



## 体験① 観光ホテルの お仕事を見学してみよう



ホテルで働く人を「ホテリエ」と呼びます。  
今回は会場近くの観光ホテルにご協力頂き、  
ベル・ドアのスタッフとコンシェルジュの仕事を見学します。

### ベル・ドアのスタッフの仕事

車でエントランス（玄関）に入って来るお客様を最初にむかえるのがベル・ドアのスタッフです。どんな誘導のしぐさ（体の動き）や言葉をなげかけるのか、説明を聞いてみましょう。**ちょうど、お客様がいらっしゃる瞬間を観察できれば、ベルスタッフの動きをしっかり観察しましょう。**団体客のチェックインの場合でもお客様（ゲスト）一人ひとりに関心を持つことが大切です。コートを手にしていらっしゃったら、寒い場所からいらっしゃったのだな、杖を持った方ならば足の具合が良くないのかなというように、観察力と想像力をフル回転させてお迎えするのがベル・ドアスタッフのお仕事です。  
お客様の車、身に付けているお洋服、持ち物、お客様の歩くスピードなどが大事な観察ポイントです。

### コンシェルジュの仕事

フロント近くにコンシェルジュと呼ばれる方が待機しています。タクシーやオプションツアーの予約業務、相談などに応じる仕事です。  
ゲストへの観光案内は？貸出物対応、バゲージアップ対応はどうしているのかな？案内時に歩くスピードは？などと臨機応変（りんきおうへん）な案内が大事な仕事です。  
「〇〇様、お疲れ様でございました。」「ありがとう！楽しかったよ」とお客から言われる瞬間にやりがいを感じることができます。荷物あずかり・予約確認・清掃確認・観光案内といろいろな仕事があります。外国人のお客様も多いので、英語はもちろん、中国語や韓国語が会話できればいいですね。



### 寺本教授コメント

お客様は今何を考えているのかな？何を探していらっしゃるのかな？と表情や動きを通して「思いをくむ」のがフロント周りのスタッフの仕事といわれています。スタッフからお客様にお声をかけることで、喜んで頂けることもあります。先輩に教わりながら、しだいに目配り・気配りのできる方がこの仕事に向いています。最大の武器はスマイル（笑顔）です。世界122の国に7000軒ものHILTONホテルをつくったコンラッド・ヒルトン氏は「地球という星をおもてなしの心で温かく照らし続ける」との理念で創業したそうです。想像力とコミュニケーション力は大事ですね。



# 講座3 『おーりとーり ようこそ石垣島へ』を深読みする

## やってみよう

市の観光交流協会から発行されているパンフレット『おーりとーり ようこそ石垣島へ』を使って島の観光需要を考えてみましょう。**深読みのコツはニーズ⇒ウォンツ⇒ダイヤモンドの3段階の読みとりです。**ニーズとは、観光客がたとえ2月のような本土で最も寒い時期に訪れたとしても南国の石垣島に何を期待して来訪しているのかを想像することです。「どこか暖かい土地を旅してみたいな」「土地の伝統文化に触れて、のんびり海を眺めて過ごしたいな」と素朴な願いや欲求をつぶやく段階を「ニーズ」と呼びます。次に、ウォンツとは、それを具体的にモノや場所に即してイメージできる段階です。例えば、「どこか暖かい土地に行きたいな」(ニーズ) ⇒ 「日本の中で最も暖かい場所はどこだろう? 八重山あたりではないかな?」(ウォンツ)、「土地の伝統文化に触れたいな」(ニーズ) ⇒ 「三線の音色や踊り、古い屋敷を観光したいな・・・」(ウォンツ)という具合に、一歩具体的なイメージに絞り込むことです。ここまでは、観光客自身が考え、八重山行きという旅を想定する判断を下すという動機(気持ちのきっかけ)に当たります。

皆さんに考えて欲しいダイヤモンド(需要)とは、そうしたウォンツを島の中のどこで観光客に実現させてあげられるのか、「いつ、どこで、観光客のウォンツを満足させてあげられそうか」を提示することです。例えば、「石垣島の○○ビーチなら、陽射しも景色も素晴らしく、のんびり過ごせるのではないか」「石垣島の伝統文化と言えば、ミンサー織と踊りだね。古い屋敷は△△だね。だとしたら、あそこに案内すればいいかも?」と提案することです。

## 島の子どもに教わろう!

各テーブルに島在住の子どもが加わっています。『おーりとーり石垣島』に掲載されている島の観光地図を読み取りながら、「これはどうかな?」「この場所ならニーズとウォンツが満足してもらえるのでは?」と島の地図を見ながら提案してみてください。島に住んでいないから分からないとあきらめずに、島の子どもと一緒に考え合い講師から提示された一覧表の空欄(次ページ)をいくつか埋めていってほしいと思います。

## 寺本教授コメント

ニーズ⇒ウォンツ⇒ダイヤモンドの三段階で観光客の求めを分析する方法は、観光学の基本です。将来、旅行代理店の企画係や市役所・県庁の経済課、観光部局職員、トラベル情報・関係出版社、観光系専門学校の教員などに就職したいなどと思っている人にとっても大事な能力の一つになるでしょう。



# 石垣市の観光パンフレット 『おーりとーり ようこそ石垣島へ』を読み解こう!

季節	旅行者の必要感 (ニーズ needs)	旅行者の欲求や願い (ウォンツ wants)	石垣島の観光スポットでの需要 (ダイヤモンド demands)
例	自然にいやされたい	南の島の密林を体験したい	米原のヤエヤマヤシ林を散策し密林感にひたる。
春	あざやかな花や南の島の樹木の写真を撮りたい	ハイビスカスとアダンを撮りたい	
	子どもの進学祝いで石垣島に家族で旅したい	家族みんなで記念写真を素敵な島の風景を背景にして撮りたい	
	神社にお参りしたい	神聖なパワーをもらいたい	
	生き物を観察したい	野鳥を双眼鏡でウォッチしたい	
夏	夏の夜空を見たい	星座に願いをこめたい	
	伝統的な祭りを感じたい	島に伝わるお祭りに触れたい・島の人から聞きたい	
	おいしい果物を食べたい	甘いマンゴーやパイナップル、スターフルーツを食べたい	
	暖かい海で泳ぎたい	サンゴ礁の浅い海で熱帯魚(クマノミ)を見にシュノーケルしたい	
秋	伝統工芸に触れたい	はたおりの体験を楽しみたい	
	失恋の痛みを忘れたい	ビーチで波の音にいやされたい	
	高価なお土産を買いたい	焼き物や真珠を買いたい	
冬	石垣島のマングローブ林を体験したい	ボートに乗ってマングローブ林の中を流れる川をさかのぼりたい	
	島でランニングをしたい	美しい海辺のコースを走りたい	
	防災を学びたい	明和と津波の跡を知りたい	
	平和について学びたい	戦争の頃の人々の苦勞を知りたい	
年中	石垣島ならではの美味しい料理を食べたい	ステーキや八重山そばを食べたい	
	石垣島ならではの美味しいお土産を買って帰りたい	美しいデザインのちょっと高価なお土産を買いたい	
	島の空を飛びたい	パラセーリングにチャレンジしてみたい	

## 講座 4 観光客の属性に応じた ポジショニング・マップ



### やってみよう

観光客といってもその姿は種類ではありません。男女、国籍、年齢、職業、所得などのいろいろな属性（ぞくせい\*その人に備わっている諸条件）によって、観光客としての好みや動きが異なるのです。親子で石垣島にいらっしゃった場合、あなた（子ども）とお母さんが楽しみたい観光の中身は同じではないのです。シュノーケルで熱帯魚を見たいと思う自分と浜辺の木陰でゆっくり過ごしたいお母さんやお父さんの楽しみが違うのです。ここでは、次の4種の属性を持った観光客を扱います。熟年夫婦・ハネムーン・女子大生3人組・ファミリーの4種です。これらの属性を持った人はどのような旅行を好むのか（ポジショニング）を二軸の図（図は当日配布）の中で位置付けてもらいます。

### 考えてみよう

一番大事なことは、それぞれの属性の好みや旅行のタイプを想像することです。講師から手渡された4種の観光客イラストカードを用いて、各テーブルで考え合しましょう。どんな旅行を好むだろうか、二軸の条件である「価格が高い」「価格が安い」「観光地めぐりを楽しむ目的型」「のんびり過ごす滞在型」の二軸の図に位置付けます。講師からも注意するように告げられますが、二軸の真ん中や軸の上にカードを置かないようにしましょう。理由付けがあいまいになるからです。二軸で区切られたそれぞれのゾーンの端に位置づけるのか、少し真ん中に近いかなくらいはOKです。旅行会社は、「旅行商品」という形のない商品を企画・販売するのが仕事です。個人旅行が増えている今日、いろいろな旅行プランをアレンジできる能力が鍵となります。

### 寺本教授コメント

**観光客は一緒じゃない!**ということを理解しましょう。観光客はそれぞれの持つ条件の範囲で観光を楽しみたいのです。たまたま体調が悪かったり、天候が悪化したりして予定していた観光ができない場合には別の好みを思い出し満足できる旅ができればいいですね。ポジショニング・マップは属性に応じた観光客の大まかなタイプを位置付けたに過ぎません。観光業についている人は、目の前の観光客が何を望んでいるかをしっかりと観察し気持ちを汲み取ったりする力が大切なプロの力量となります。要は、「自分が旅行する立場になって考える」ことができることと「観光を通して人に喜んでもらえることが自分の喜びと感じる」なら、その仕事は合っているとと言えるでしょう。お客さんと一緒によりよい旅をつくり上げることがやりがいになります。

## 講座 5 YOUは何を目的に日本へ?! 英語で会話してみよう。

### やってみよう

『観光でまちを元気に! 日本・ふるさと再発見!』日本観光振興協会発行のP9~11には外国人観光客が日本を旅先として選んでもらうことの大切さが解説されています。外国人から見た日本の魅力ランキングでは、1位がおいしい日本食です。これを英語で尋ねてみませんか? P11⑤には英会話例文がのっています。班のメンバーで1人が日本人ガイド役となり、ほかのメンバーは外国人観光客役になって英会話してみましょう。ガイド役になった児童は、石垣島の観光スポットの写真を貼り付けた二つ折り画用紙(片面に観光資源の写真・片面に英語フレーズ)を使って英会話にチャレンジしてみましょう。

### 英語ガイドのコツとは

英語ガイドのコツは、多少発音が上手でなくても目を見てはっきりと単語を口に出すことです。意思を伝えようとする気持ちが大事です。なぜなら英語は、いつもIとかYOUとかきちんと発声することばですよ。ですから、恥ずかしがらないで英単語をしっかり声に出していきましょう。**観光地案内の基本キープフレーズは、I'm going to show you ~ (わたしが~を紹介しましょう。)**です。**How long do you stay in OKINAWA? (どれくらい沖縄には滞在しますか?)**や**Can I get on the bus? (バスに乗っていいですか?)**も使うでしょう。



I'm going to show you ~  
(わたしが~を紹介しましょう。)

How long do you stay in OKINAWA?  
(どれくらい沖縄には滞在しますか?)

Can I get on the bus?  
(バスに乗っていいですか?)

### 寺本教授コメント

スマイル(笑顔)で英語ガイドを楽しみましょう。手ぶり身振りも大切なコミュニケーションの手段です。観光客を受け入れる気持ちのあり方をホスピタリティといいます。これからの時代、身近な場所で外国人観光客を目にする機会が増えるでしょう。観光客でなく外国人移住者とも接する機会があります。外国語で気軽に道案内できる力やホスピタリティは、国際交流としても大事な力となります。全国通訳案内士やキャビンアテンダント(CA)、観光バスガイド、旅館やホテルスタッフ、観光タクシーなど外国語で会話できる仕事はたくさんあります。これからは普通の会社員になる上でも必須の能力かもしれませんね。

## 体験② 離島ターミナル待合室で

旅行者にインタビューしてみよう!

### 八重山にはいろいろな島があることをつかもう

会場のあるビルには離島に出発するフェリーのチケット売り場と待合室があります。売り場の店先にはいろいろな島の名前（竹富島・小浜島・鳩間島・西表島・波照間島・黒島・与那国島）ときれいな各島の風景写真が貼られています。ワクワクする島旅への気持ちが一気に高まりますね。八重山諸島と呼ばれる島々へ石垣港から出発できるのです。ということは、石垣市がそれらの島々とのつながりの中のハブ（車輪の軸）に当たる役割を担っていることが分かりますね。石垣市は人口5万人を越えました。一方、八重山の島々は数百人から数千しか人が住んでいない島が大半です。西表島などを有する竹富町の役場は竹富島にはありません。何と会場近くにありません。なぜでしょう？

### 観光客へのインタビューに挑戦!

各グループで待合室に降り、出発を待っている観光客と思われる人にインタビューしてみましょう。尋ねる質問は、「どこからいらっしゃいましたか?」と「どの島にこれから行きますか?」「その島には、どんな楽しみ（目的）で訪れるのですか?」の3点です。目的である楽しみの種類（島にある自然・島の歴史や文化・食べ物・アドベンチャー・その他）を分けた5枚の花びら型のシートにシールを貼ってもらうインタビュー方式です。貼ってもらったら、シールにはインタビューした旅行者の出立地（県や市、もしくは国籍）を記して下さい。行先の島の名前はシールの近くに記して下さい。



### 寺本教授コメント

観光客の動きを駅や空港、港でつかむ方式は、とても有効です。どのようなシーズン（季節）にどのような理由で何人の旅行者が利用しているか、を発券数で把握しておくことは、観光を担当する市役所では大切な情報です。また、民間の仕事でも宿泊や飲食、物販、交通などの準備（物販の場合は仕入れの量にも影響）にも必要な情報となります。観光客がどのような動きをするのかをつかむ作業は、観光地を持つ市町村では、真っ先につかみたい情報なのです。近い将来は、旅行者に属するいろいろな情報（国籍、男女、年齢、宿泊数、好み）をICゲートのような装置で収集し、ほかの利用目的と掛け合わせるデジタルトランスフォーメーション（DX）によって、観光客の動きを詳細につかめる時代がやってくることでしょう。

## 講座 6 国土地理院発行 2万5千分の1縮尺

**地形図「川平」**を使って、

アドベンチャー・ツーリズムの企画を  
考えよう



サップ (SUP \* スタンドアップパドルボードの略) と呼ばれる立ち姿で板をこぐ遊びやカヌー、シュノーケリング、ジャングルナイトツアー、本格的なダイビングなど冒険の要素を取り入れた観光が人気です。これに島ならではの歴史・文化体験をアクティビティとして組み込むと立派なアドベンチャー・ツーリズムが出来上がります。

### 読み取ってみよう

等高線が印刷された紙の地形図は見たことはありますか？全国各地がカバーできています。国土地理院（茨城県つくば市）という役所で作られています。寺本は学生時代、そこでアルバイトもしたことがあります。地形図を作製するために多くの大人たちが知恵と工夫で取り組んでいます。国土の地形図を揃えていることが先進国の証（あかし）であるとも言えます。大きな書店に行けば販売されていますよ。実物を是非、見てくださいね。つい、パソコンで地図を呼び出し、カーナビのように移動ルートまで示してくれる便利な機能に頼りがちですが、紙の地形図はデジタルの地図にはない面白さと魅力があります。2万5千分の1縮尺地形図は、地図の中で1センチの距離が、実際の土地では250mの長さで表されています。どのように街が地形図に表現されているか、山や海岸、田畑、工場地帯がどのように描かれているか、鳥の目になれて楽しいですよ。

### アドベンチャー・ツーリズムの企画を地形図で考えよう

欧米の観光でいま、大人気なのが、アドベンチャー・ツーリズムと呼ばれる観光です。**アクティビティと自然体験、文化体験の3つの内、二つ以上の要素**が取り入れられ、体験前と後とで何らかの自己変革（ちょっと自分が変わるという感覚）がもたらされる観光と定義されています。石垣島の最も有名な観光スポットである川平湾を地形図で読み取り、まるで自分が川平湾で楽しんでいるかのような想像をして下さい。例えば、伝統的なサバコと呼ばれる木造の小舟に乗って、川平湾から御神崎灯台をまわり、途中で海にもぐり、大きなエイと出会い、草籠（かご）づくりや八重山舞踊の体験ができれば立派なアドベンチャーになります。配られた紙の地形図でそのコースを考え、思いついた体験を付箋に書いて貼ってみましょう。

### 寺本教授コメント

地形図の中の林の記号に着目しましょう。川平湾の透明度が高い理由が分かります。沖縄県最高峰の於茂登岳（おもとだけ）に地図上で登山をしてみませんか？川平の集落をしっかりと見つめてみましょう。琉球王朝時代から残っている地名はありますか？滝はありますか？キングコングでも現れてきそうなヤシ林はありますか？

## 講座 7 ダイヤモンドランキングで

地域の観光の改善したい点に  
優先順位をつけよう



### やってみよう

学校でランキング（当日配布します）を使って、物事の順位を考えたことはありますか？ダイヤモンドランキングは、合計9つの箱に入る事柄の重要性や優先具合を考える上で役立ちます。

当日配布するワークシートには「観光客にもっと来てくれるために改善すべき課題は何か？」と題する課題にア～ケの9つの解説策があらかじめ書いてあります。でも、現実の世界ではこういった解決策自体を自分たちで考え出すこともあります。

### 考えてみよう

それぞれの地域の実情でどの項目を優先するかは、異なります。地域によっては外国人観光客対応が最も大事な課題となっているときとそうでない地域もあります。スイーツ開発が求められる地域とそうでない地域、空き部屋を民泊に変えていける地域とできない地域など、いろいろな事情も地域にはあります。このワークシートに記してあるア～ケの解決策のいくつかは、きっと皆さんの住む街でも当てはめることができるでしょう。観光振興策は市民も一緒になって考え、「住んでよし、訪れてよし」の街に仕上げてください。子どもたちによる観光まちづくり提案は案外、大人たちは耳を傾けてくれるものです。中学や高校にあがっても地域の活性化プランを考える機会はこれから増えてくるでしょう。その際、優先順位を付けて提案することが大事です。



### 寺本教授コメント

日本人はランキングが好きと言われています。毎年、11月に発表される都道府県魅力度ランキング（ブランド総合研究所主宰）はその典型です。ランキング思考で考えることで、優先順位や価値順位を考えることができます。漠然と思いついたアイデアや事柄を列記しつつ、どれを優先させるか、どの項目がより重要度が高いかなどをグループでいろいろ考えを出し合いながら決めていくことは、将来につながる大切な経験になるでしょう。

## 講座 8 顔ハメボードを使って 石垣島の観光を紹介しよう



川平湾（サンゴ礁）・八重山そば・リゾートホテル・マングローブ林・舞踊・織物は、石垣島を代表する観光資源です。このほかにも、鍾乳洞や古民家、泡盛、民謡、マリンスポーツの場、パイン畑、ハーブ、黒真珠、パラグライダー場、星空もあります。調べれば調べるほど、興味深いスポットが満載の島なのです。今回、代表的な6種の観光顔ハメボードを用意しました。顔ハメとは、観光地や観光施設の玄関に置いてある丸い穴の付いたパネルです。その土地の偉人や物産を紹介したものが多くです。穴に顔をハメて、記念写真を撮ったことはありませんか？楽しいひとときが過ごせますね。

### やってみよう

まずは興味を持った顔ハメボードを手にとって自分の顔を穴にハメてみましょう。笑顔や変顔で顔ハメを向けてみましょう。笑ってくれたら成功ですね。ボードを動かしたり、観光PRをつぶやいたりするのもいいですね。顔ハメを使って楽しく観光案内にチャレンジしてみましょう。

### セリフを考えよう

各テーブルで話し合って1つ顔ハメボードを選んで下さい。次に、180文字以下で紹介するPR文（セリフ）を考えてみましょう。はじめ・なか・おわりの3つの段階のセリフを考えます。「はじめ」には、観光スポットや観光対象の名前を盛り込みます。少し、修飾語を付けると効果的です。「なか」には、その観光スポットや対象物の魅力を紹介します。美しさや美味しさ、珍しさなどを楽しそうな文言で表現します。「おわり」は、呼びかけことばを書きます。「〇〇に来てねえー！」と誘客へつなぐお誘いのことばです。

### 寺本教授コメント

見本として、長崎市の小学6年生が顔ハメボードを使って観光PRを試みた例を寺本が実演してみますので参考にして下さい。面白かったら、上の学年に上がった時に「観光の勉強がしたいです。県や市の観光振興は顔ハメパネルでPRすると面白いですよ。」と先生に提案して下さい。ご当地の観光スポットや偉人、産物をモチーフにして顔ハメを図工の時間に手作りしてみたいかでしょうか。

地図帳で有名な帝国書院という会社のHP（ホームページ）には「地図帳の観光読み」というコーナーがあります。寺本が執筆していますので先生と一緒に閲覧（えつらん）してみてくださいね。

## おわりに（参加児童の皆さんへ）

二日間にわたり、皆さんが将来きっと役に立つ観光学講座を計画しました。主催者にとっても初めての企画です。果たして成功するか否かは分かりませんが、皆さんが、講座が終わった後に「石垣市子ども観光大使」として石垣島の魅力を積極的に周囲のお友達や親戚に紹介してくれたり、観光のお仕事について興味を持ってくれたりすれば、成功と思っています。「観光は平和へのパスポート」という国連で唱えられたスローガン（1967年国際観光年）があります。国内外からやってきてくれる観光客と交流し、いろいろな土地を旅することで視野を広げ、各地の自然や文化、人々と接することで、寛容な心（相手を受け入れる姿勢）を育み、ひいては国際理解や平和な世の中になるよう学んでいってくれたら嬉しいです。昔と違って、観光はイコール娯楽だけではありません。**いろんな体験知を授けてくれる経験の源なのです。**

でも観光から楽しさを省いてはいけません。観光はワクワクする体験、ドキドキする光景、目を開く美しい風景との出会いなど、人生を豊かにしてくれる瞬間に満ちているからです。これから中学や高校に進学した際も課題学習（地域探究）や職場体験の機会に観光（業）というテーマを選び、探究を続けて下さいね。観光学は奥深く、将来チャレンジしてみる魅力あるジャンルですから……。

このテキストは、講座参加者に事前にお送りすることで、予習を期待しています。特に、**講座1の「観光の花びら」は事前に記入しておいてくださいね。**学校では、国語や算数、理科、社会、英語、図工・音楽、体育、家庭、総合など多くの教科や時間が用意されていますが、それらの学びは観光学を取り組む上で大事な基礎となります。また、お住まいの市や県の観光政策についても関心を持ってください。各県でも観光のホームページ制作には力を入れています。自分の住む市や県に多くの観光客を呼び込むにはどうしたらいいのだろうか。市民・県民の一人としてできることはないか、考えてみてくださいね。この二日間の講座が、皆さんのこれからの勉強や旅行体験に役立ってもらえたら、大変嬉しいです。

主催者一同

ポーッとしてるようで、  
見てるんだよ〜



シラタビくん

(種族：シロハラクイナ)

シラタビくんは、かつては普通のシロハラクイナ。いつもポーッと田んぼや林の中でのんびりしていたが、ある日、石垣島に観光に来た人間が落としていった地図に興味を持つ。この地図をきっかけに、「石垣島にはまだ知らないことがたくさんある」と気づき、好奇心が芽生える。

シラタビくんは、ほかのクイナたちが休んでいる間も地図を眺めたり、島中を駆け回って探検したりするようになる。そのうち、誰よりも島に詳しくなり、いつしか地元の動植物たちや人々からも頼られる存在に。

「自分が知ったことをみんなに教えたい！」という強い気持ちから、昼夜問わず走り回り、勉強を続けている。海辺や山、マングローブ、街中の裏路地まで知り尽くし、時には観光客を案内することも。

#### 性格

- ・普段はのんびり屋でポーッとしているが、
- ・石垣島のことになると急にじょう舌になり、足が速くなる。

#### 特徴

- ・石垣島中を駆け回る「水鳥（クイナ）」。飛ぶのは苦手。
- ・地元では「走る地図帳」と呼ばれることも!?
- ・石垣島の自然や観光だけでなく、歴史や文化にも詳しい。

#### 趣味

- ・石垣島を探検すること。
- ・他の動物や観光客とのおしゃべり。

#### 特技

- ・島内のどんな場所にも迷わずたどり着ける。
- ・石垣島の自然や文化についての豆知識を披露する。
- ・動植物の言葉を理解できる。

## 【世界観光倫理憲章】

UNWTO（世界観光機関）は世界の環境、文化遺産、社会に与えられる潜在的な悪影響を最小限にしながら、観光産業の発展を最大限に引き出すことを目的として総会でこの憲章を採択しました。全10条で構成されています。その第1条には「人間と社会間の相互理解と敬意への観光への貢献」があげられ、「6. 観光客と訪問客は、出発前であっても訪問を準備している国の特性について、理解しておく責任がある。」と明文されています。第3条「持続可能な開発の要素」では「3. 観光客と訪問客の時間と空間の流れを分散させること、特に有給休暇や学校の休日による分散及び更なる休日の分散化は、環境に対する観光関連活動による影響を軽減するとともに、観光産業や地域経済への好影響を増進するために検討されるべきである。」「5. 自然観光やエコツーリズムは、自然遺産や地域住民を尊重し、訪問場所の環境収容力を保っている限りにおいて、特に観光の地位を向上させ、増進するものとして認められる。」と記されています。

## 【講師のプロフィール】

寺本 潔（てらもと きよし） 1956年熊本県生まれ。熊本大学卒、筑波大学大学院修了。筑波大学附属小学校教諭を経て愛知教育大学・玉川大学・東京成徳大学に勤務し令和6年度より沖縄県にある公立大学法人名桜（めいおう）大学特任教授に就任。玉川大学名誉教授。石垣島の自然と文化に魅せられ来島15回。B型・乙女座甘いもの（パイン、粒あん、モンブランケーキ）も大好き。地理学や社会科教育に関する著書61冊。児童向け図書として『よのなかの図鑑』（小学館NEOシリーズ）や『ポプラディア+日本の地理 全7巻』（ポプラ社）なども監修。学校で皆さんが使っている『楽しく学ぶ小学生の地図帳』（帝国書院）の著者でもある。

## 子ども観光学講座 in 石垣島 2025 テキスト

編集：石垣市観光文化課 〒907-8501 沖縄県石垣市字真栄里 672

発行：2025年1月24日

執筆：寺本 潔 名桜大学国際学部特任教授

\*本書にもとづくワークブック・解説書の無断発行を禁じます。